

エネルギー高効率利用への 貢献をめざして

日時：平成30年3月2日(金) 10:00～17:20

場所：東京大学 弥生講堂 一条ホール（弥生キャンパス）

ご挨拶

わが国は現在、大震災、エネルギー問題、産業空洞化、少子高齢化、経済危機などさまざまな困難に直面しています。そして、それらの克服において、またグリーン成長の駆動力として、科学技術の生み出す具体的な成果が求められ、また、科学技術イノベーションへ向けた第4期科学技術基本計画では、厳しい財政にも拘わらず GDP の1%を政府研究開発投資として確保するとされています。その中で、本プロジェクトは、エネルギーの高効率利用という社会の期待が大きく、かつ人類の普遍的な課題に対し、研究資源を集中投資する、との国の方針を受けて設定されたものです。

我々は、この社会的な使命を果たし、将来に向けて明るい見通しを具体的な研究成果で示すような「相界面科学」を推進するとともに、その推進母体となる研究者集団・バーチャルインスティテュートを形成し、エネルギー変換・輸送・貯蔵・利用プロセスに付随して生じるエネルギーシステムの本質である様々な相界面現象に着目し、その基礎学理とそれに基づいた、高機能界面の創成、モデリングおよびシミュレーション、制御・最適化のそれぞれに関わる基盤技術の創出に資する研究を推進しています。

お問い合わせ

科学技術振興機構

戦略研究推進部（「相界面」領域担当）

102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

TEL : 03-3512-3525

E-mail : soukaimen@jst.go.jp

◆参加費無料（定員300名）

◆下記よりお申し込み下さい。

<https://soukaimen.jst.go.jp/event/index.html>

【交通案内】東京大学 弥生講堂 一条ホール

東京メトロ 南北線「東大前」駅下車 徒歩1分
東京メトロ 千代田線「根津」駅下車 徒歩8分



JST CREST・さきがけ「相界面」研究領域 第4回公開シンポジウム プログラム

平成30年3月2日(金)10:00~17:20

於:東京大学 弥生講堂 一条ホール

10:00~10:10

はじめに

研究総括

花村 克悟



13:40~14:30 特別講演

座長:佐藤 勝昭 (科学技術振興機構)



13:40~14:30

特別講演 エネルギーハーベスティングの
最新動向と普及への課題、将来展望

相界面領域とも関連の深いエネルギーハーベスティング技術が、IoT社会を実現するための基盤技術として注目を集めている。本講演では、エネルギーハーベスティングに関する国内外の最新動向を紹介するとともに、普及への課題と将来の展望を示す。



株式会社 NTT データ経営研究所 竹内 敬治

14:30~14:50

休憩

10:10~12:10 第1セッション

座長:金村 聖志 (首都大学東京)



10:10~10:40 [CREST]

多孔性電極中のイオン輸送現象の解明と
高入力電池への展開

京都大学 安部 武志



10:40~11:10 [CREST]

酸化物半導体ブリカーサーを用いる相互侵入型無機・有機(無機)
バルクヘテロナノ界面の一括構築と太陽電池への応用

九州工業大学 早瀬 修一



11:10~11:40 [CREST]

革新的アニオン導電性高分子を用いた
三相界面の創製とアルカリ形燃料電池への展開

山梨大学 宮武 健治



11:40~12:10 [CREST]

エネルギー変換計算科学による
相界面光誘起素過程の設計

東京大学 山下 晃一



14:50~17:20 第2セッション

座長:栗原 和枝 (東北大学)



14:50~15:20 [さきがけ]

超低摩擦摺動メカニズムの解明と
新規相界面の創成

同志社大学 平山 朋子



15:20~15:50 [CREST]

固体酸化物形燃料電池電極の材料・
構造革新のためのマルチスケール連成解析基盤

九州大学 古山 通久



15:50~16:20 [CREST]

界面科学に基づく次世代エネルギーへの
ナノポーラス複合材料開発

東北大学 陳 明偉



16:20~16:50 [さきがけ]

スピン流を用いた
革新的エネルギーデバイス技術の創出

物質・材料研究機構 内田 健一



16:50~17:20 [さきがけ]

相界面の動的構造観察のための
波長分散型表面X線回折計の開発と応用

産業技術総合研究所 白澤 徹郎



12:10~13:40

休憩 (昼食)